

Chapter 3 

英単語・英熟語の勉強法



単語が覚えられない……



何がいけないかわかった！

ランキングが下の熟語、覚えなくていい？



後ろの熟語ほど狙われるんだ！

1カ月に1000単語？ムリじゃん……



あ、なんかできそう！

今日からは……

共通テストはあくまで「通過点」にすぎない！  
合格を見据えて、共通テスト対策に振り回されないように！！



今日からは...

単語は「1カ月に6回」目を通す！

また、6回という「回数」以外に、1カ月という「期間」も大事です。筋トレを例に考えてみましょう。1000回の腹筋という「回数」だけでは意味がありません。1カ月に1000回なら効果はありますが、1年で1000回では効果はありませんよね。

単語も長いスパンでやっても覚えられません。「コツコツやれば覚えられる」というのは幻想です。それはたぶんみなさん自身が今まで身を持って体験しているのではないのでしょうか。ですから、単に「6回」ではなく、「1カ月に「6回」なんです。1年もかけたら6回やつても忘れるのが普通です。

以上からわかる通り、今まで単語が苦手だった理由は「単に回数が足りないだけ」なんです。単語を覚えられずにヘコんでる間に1回でも多く単語に目を通した人が勝つんですよ。

① 単語に限らず暗記モノを覚える作業は、下りのエスカレーターをかけるようなものなんです。中途半端な位置でやめちゃうと、時間が経てばすぐに元に戻っちゃいます。一気に上までかけ上げれば、少し休んでも忘れなものです。

# 01

## 英単語を「覚えられない」理由

💬 単純に「回数が不足してる」だけ

単語は「短期間に何回も目を通す」必要があります。ここはズバリ言いました。1カ月に「6回」同じ単語に目を通す！

もちろん個人差（単語の難しさ・集中力の差）もありますが、僕がたくさんの生徒に教えてきて、学力に関係なく一番反響がある基準が「1カ月に6回」です。ですから、「単語が覚えられない」と悩む人の大半は「単純に回数が不足してるだけ」なんです。1カ月に6回やらないと覚えられません。3〜4回で覚えられるほうがおかしんです。



## 02

### 英単語を覚えても 「すぐ忘れちゃう」理由

☞ 0.1秒で思い出せないという意味がない！

単語テストでは「えっと……」と考えて意味が書ければ正解になっていましたよね。でもそれではダメです。本当の意味で「単語をマスターした」という基準は「0.1秒で思い出せるかどうか」なんです。

つまり、0.1秒で思い出せない、それは「マスターした」ことにはならないんです。時間が経てばすぐに忘れてしまいます。「覚えて」と「定着した」はまったく違います。「定着」して初めて単語をマスターしたことになるんです。

英単語をマスターするプロセス

- ① 知らない「見てもサッパリ思い出せない」
- ② 覚えてない「スペルに見覚えはある」
- ③ 覚えた（けどすぐ忘れる）「数秒で意味を思い出せる」
- ④ 定着「0.1秒で意味を思い出せる！」

①から③に行くまでが一番時間がかかるので、③の状態（数秒で意味を思い出せる）で「覚えた」と思ってここでやめてしまうんです。ここでやめるからすぐに忘れるんです。それで「何回やってもすぐ忘れちゃう。やっぱり単語は苦手……」と思ってしまうわけです。

③の状態まで行けば、実はあと一押しなんです。④の状態（0.1秒で思い出せる状態）まで繰り返せば、英単語は脳に染み込みます。必ずここまでやりこんでください。しかも「0.1秒で思い出せる」その瞬発力は、後々「長文を速く読める」力にもつながります。<sup>①</sup>1つの単語の意味を思い出すのに数秒かかっていたら、長い英文を速く読むのなんて無理ですよ。

<sup>①</sup> 詳しくは141ページでお話します。



## 03



### 英単語を覚えるときの「コツ」



欲張ると覚えられない。「見て意味がわかる」を最優先！

困ったことに、ここ最近単語帳が「辞書化」してしまっています。

本来、単語帳というのは、「入試に出る単語」を「出る意味に絞って」載せたハ  
ンドブックなわけです。昔の単語帳はスッキリと情報が絞り込まれていました。

ところが、最近の単語帳は細かい情報を詰め込みすぎです。教師の立場からはあ  
りがたいですが、生徒からしたら、たまったものではありません。たくさん  
の意味・スペル・派生語・類義語・長い例文……。欲張って1つの単語のいろんな情報  
を覚えようとすると、結局頭に何も残らないんです。

今日  
からは…

「覚えた」(けどすぐ忘れる)段階でやめない！  
0.1秒で思い出せるまで繰り返し返そう!!



単語は「意味が1つわかる」という目標1つに絞ってください。

確かに「たくさんの意味を覚えたほうがいい」「スペルも書けたほうがいい」「派生語も覚えたほうがいい」んです。<sup>91</sup>でもここまでやるうとしたらキリがありません。まずは「意味だけわかる」単語を増やしてください。受験生が一番悩むのが「意味がわからない」単語です。「意外な意味」「スペルに注意する」単語は限られているので、そういう問題にぶつかつたときに覚えるほうが圧倒的に効率がいいんです。最初は、1つの英単語につき1つだけ意味を覚えてください。

単語帳にはたくさんの意味が載っていますが、欲張ると結局どれも覚えられませんが、単語帳の最初の意味、もしくは自分が一番覚えやすい意味で覚えて「記憶の核」を作ってください。「意味がわかる単語」をどんどん増やすことが最優先です！

### 「Repair→修理する」or「修理する→repair」どちらで覚えるの？

英単語を学ぶときに出てくるのが、「英語→日本語」で覚えるか、「日本語→英語

語」で覚えるか、という問題です。

こういう場合、必ず「Repair→修理する」の順で覚えてください。こっちはほうが断然ラクです。「修理する→repair」の順で覚えようとすると「4倍時間がかかる」というデータもあります。<sup>92</sup>

「英語を見て意味が浮かぶ」ことを最初の目標にしてください。スペルを捨てて「読める単語を増やしていく」のが、限られた時間で英語力を上げるコツです。

### 覚えるときにスペルは書く・書かない？

どういう順で覚えるか、という問題と同じくらい生徒からよく質問されるのが、スペルは書いて覚えたほうがいいのか、ということなんです。

結論を言うと、**スペルを書くのか書かないのかはどちらでもOK**です。確かに書いたほうが覚えやすくなりますが、書く時間がかかります。ですから、目で見て覚えられそうな単語は、見て覚えてしましましょう。それでも覚えられない単語も出てくるので、そのときは何回も書きましょう。

「何回書くか？」なんて決めるのはナンセンスです。回数を決めてしまうと、英単

<sup>91</sup>「したほうがいいではなく、「しなきゃいけない」を最優先するんですね28ページ」。

<sup>92</sup>同じ労力をかけるなら、「意味がわかる単語1000個と、「日本語を見て英語が出る単語250個……、絶対に1000個のほうがいいですよ」ね。



語を書きながら、いつのまにか無意識に回数を数えるようになるものです。すべて  
の集中力は英語そのものに向けるために、回数なんて考えないようにしましょう。  
「もう頭に染み込んだら」と感じる瞬間まで、書き続けてください。

マジックで手に書けば覚える！

「何回見ても覚えられない」単語ってありますよね。こういう単語には特別措置を  
取ります。付せんに書いてスマホや家の中に貼って、1日中目に入るようにすれば  
覚えられます。

さらに、マジックで手の甲に書いてください。1日1個手に書けば、たったそれ  
だけで何の苦勞もなく、1年で365個の英単語はあっさり覚えられますよ。

今日  
からは…

欲張ると全部忘れる。  
まずは「日本語の意味が1つ言える」ように！

## 04

### 単語帳・熟語帳を使うときに 気をつけること

「出る順ランキング」には意味がない!?

市販の単語帳では「出る順ランキング」がよく使われていますね。でもこのラン  
キングは気にしないほうがいいです。ランキングって、全国の大学の平均値なんで  
す。上は東大から、下は偏差値40の大学までの平均値なんです。

この本を読んでいる方は、難関大学を目指す方だと思います。そういう大学を狙  
うなら、ランキングにとらわれてはダメなんです。言い換えれば「頻度1位も、頻  
度1500位も同じようにマスターしなきゃいけない」んです。

なぜかというと、ランキングで1500番目の単語は、確かに全国の平均値では



1500番目かもしれませんが、難関大学ではよく狙われるということがあるからです。<sup>①</sup>たとえば *bleed* 「屋根裏部屋」という単語は「物語」でよく使われます。でも物語自体が入試にあまり出ないため、ランキングでは当然、下になります。

さらに、熟語帳の場合ほもつと深刻です。なぜかという、重要な熟語ほど空欄になって消えてしまうからです。(誤解を恐れずに言うなら)「入試で得点に直結する熟語ほど後ろにある」とも言えます。

また、ランキングにとらわれてしまうと、最初の重要語は真剣に覚えるのですが、後半の難しい単語だと、常に心の中に「ホントに出るのかなあ?」という疑念がつきまわって、無意識のうちに真剣さが下がってしまうこともあるんです。

こういった理由で、ランキングは気にせず「単語帳・熟語帳は1冊全部覚える」姿勢が必要です。

### 1冊全部覚えた人だけの「強み」

1冊丸ごと覚えると、とてもオイシイことが待っています。

熟語帳を例に説明してみましよう。どの熟語帳も1000個くらい載っています。800個覚えたA君・900個まで覚えたB君・1000個全部覚えたC君では、C君だけダントツの力を手に入れられるんです。

A君とB君は似たような実力です。でも1冊を完璧にこなしたC君は「自分が知らない熟語はほかの人も知らない」と言い切れるわけです。

たとえば試験でわからない熟語に当たったとき、考えれば解ける問題かもしれませんが、そうでなければ堂々と「捨ててOK」と判断できるんです。過去問の使い方、詳しく説明しますが (Chapter 10)、この「捨て問」を判断できるようになると、合格に大きく近づきます。ムダなことに時間を割かなくていいわけですからね。ぜひ単語帳・熟語帳は1冊をやり切ってください。やり切った人だけに与えられる達成感・ゆるぎない自信も手に入りますよ。

### 「長文の中で覚える」の落とし穴

世間では「単語は長文の中で覚えるべき」「単語は文脈で意味が変わるから、単語帳で覚えるのはムダ」という意見もあります。

<sup>①</sup>たとえば *vulnerable* 「弱い」という単語は、ランキングではかなり下ですが、下線が引かれてよく問題に出ます。



「普通の単語帳」と「長文型の単語帳」は、いつも議論の対象になり、「どっちがいいか？」が熱く語られることもあります。答えは単純です。

「今のレベルによって使い分ける」。

これだけです。両方よいところがあるのだから、両方使えばいいだけです。

でも**最初は、「普通の単語帳」を使うべき**です。1つの意味をしっかりと覚えてないと、文脈もへったくれもありません。まずは1つの意味を確実に覚えましょう。単語帳は学校で使っているものでもかまいませんが、オススメとしては『**肘井学の ゼロから英単語が面白いほど覚えられる本 音声ダウンロード付**』**【英単語 Stock3000】**『**英単語 Stock4500**』です。

### 受験生のやりがちな失敗

単語帳を1冊こなしたら、とりあえず単語は終了です。

「2冊やったほうがいい」と言われるかもしれませんが、また出ましたね、「したほうがいい」……。みなさんは「やらなきゃいけない」ことが山ほどあります（熟語・文法・英文解釈）ので、そちらを先にやってください。単語は早い段階で見切りをつけないといけません！

単語は永遠のテーマですので、どんなにやっても知らない単語は出てきます。でも、この「知らない単語が出てくる」という現実に向き合わないといけません。いつまでも「単語が苦手で……」と言いながら、単語帳から離れたがらない受験生がたくさんいます。その気持ちはわかりますが、受験は時間が限られた中での戦いです。いつまでも単語ばかりやっていては勝てません。早く1冊を仕上げて、さっさと次のステップに進まないといけません。

目安としては、**どんなに遅くても「高3の8月まで」**です。この時期までに覚えてた単語で勝負していかないといけないんです（じゃないとほかのもっと大事なこと

⑫ にもかかわらず、世間では「前期は単語をやら」というアドバイスもよく聞きますが、僕に言わせれば言語道断です。

### Books

『肘井学の ゼロから英単語が面白いほど覚えられる本 音声ダウンロード付』  
(肘井学 / KADOKAWA)  
高校1冊目の単語帳はこれがベスト。しっかりと情報を絞った上で、様々な工夫が詰め込まれています。最初の2項目(4ページ分)見たとき、「あれ? デジャブ??」と思う施策も。

『英単語Stock3000』『英単語Stock4500』(関 正生 / 文英堂)  
[3000]のほうは、高1~共通テストレベル、[4500]のほうは、高2~受験レベル(MARCH・国公立、早慶の基本くらいまで)というイメージです。単語帳の役割って? 「これから」の試験に出る単語を「覚えさせる」ことです。今までのデータだけで作ってたら、新しい単語に対応できない。覚えさせる工夫がない単語帳に日本全国の高校生は苦労している。「Stock」なら明日から電車の中で単語帳を見る時間が楽しくなるはず。



が終わりません)。

そして、熟語は9月までに完成させてください。高3の後半は「単語がわからなくても意地でも長文を読み切る」という精神力を養わないといけないんです。まちがっても、受験直前まで単語帳から離れられない、ヤワな受験生にならないでくださいね。

今日は…  
からは…

出る順ランキングにとられず1冊をやり切ろう！  
そして、8月までに単語に見切りをつけよう！！

## 05

### 1カ月で10000単語習得する方法

「ウロ覚えの反復」で10000単語覚えられる

「1カ月で単語10000個を覚える」と言うと「ムリ」と言われそうですが、十分可能です。<sup>①</sup>

まず、今までの常識を捨ててください。やり方を劇的に変えるからこそ「劇的な効果」が生まれるわけです。

単語の覚え方は、「1日2000個×5日」で1セットです。

2000個の英単語を1日2時間使って（1時間で1000個ペース）ひたすら覚えます。5日で1セットですから、6日目からは2セット目に入ります。これをひた

<sup>①</sup>僕は25年以上予備校で生徒にこの方法を教え続けて、毎年多くの生徒が大成功しています。



1カ月1000単語習得法

「1日200個×5日」を6セット繰り返す

例 3月1日にスタートする場合

1 セ ッ ト 目	3/1 (1日目)	1番～200番
	3/2 (2日目)	201番～400番
	3/3 (3日目)	401番～600番
	3/4 (4日目)	601番～800番
	3/5 (5日目)	801番～1000番
2 セ ッ ト 目	3/6 (6日目)	1番～200番
	3/7 (7日目)	201番～400番
	3/8 (8日目)	401番～600番
	3/9 (9日目)	601番～800番
	3/10 (10日目)	801番～1000番
3 セ ッ ト 目	3/11 (11日目)	1番～200番
	3/12 (12日目)	201番～400番
	3/13 (13日目)	401番～600番
	3/14 (14日目)	601番～800番
	3/15 (15日目)	801番～1000番
6 セ ッ ト 目	3/26 (26日目)	1番～200番
	3/27 (27日目)	201番～400番
	3/28 (28日目)	401番～600番
	3/29 (29日目)	601番～800番
	3/30 (30日目)	801番～1000番

すら6セット繰り返します（「1カ月で6回」がポイントでしたね）。  
断言しますが、6セット繰り返せば90%以上の英単語の意味はスラスラ出てくる  
ようになります。

ポイントは「ウロ覚えの反復」です。ウロ覚えでOKなので「とにかく1日200  
0個」目に焼きつけることです。

そして、暗記の間隔を空けないことも大事です。最低でも5日に1回は同じ英単  
語に目を通すことになるのがこの方法のポイントです。

🗨️ 手ごたえは5セット目から、ブレイクは6セット目に

ホントにつらいのが最初の4セット（20日間）です。時間もかかるしココロが折  
れます。4セット目まではほとんど効果が出ないからです。

手ごたえを感じるのは5セット目からです。そして、6セット目で一気にブレ  
イ  
ク  
し  
ま  
す。

⑫ 本当ならもっと頻繁に目  
を通してほしいのですが、  
さすがにそこまでは時間  
が取れないかもしれませ  
んね。でも6日以上は空  
けないでください。リセ  
ットされたように記憶が  
飛びます。5日が限界で  
しょう。



ここまで自信を持って言い切る理由は2つです。1つめは自分自身の経験。2つめは膨大な数の教え子の成功体験です。

僕自身、高2の夏休みにこのやり方で1000個以上、高3の夏休みにもさらに1000個覚ええました。大学入学後もずっとこのやり方で語彙を増やしました。僕の人生で「単語で悩んだことは一度もない」のはすべてこの方法のおかげです。17歳のときでも、35歳を超えて記憶力に衰えを感じても、必ず5〜6回目で効果が出た経験からくる自信があります。

予備校の生徒にも同じ効果が出ています。英語が苦手な生徒も東大医学部に進学した生徒も（もちろん多少の差はありますが）みんな同じようにブレイクしています。

### 「フロ覚え」って何なんぞさ。

僕の言うウロ覚えはズバリ「1時間1000個ペース」です。

たとえば、単語1000個のリストを渡されたとしましょう。時計を見てください。今からジャスト1時間後に、その1000個をテストすると思ってください。これで

どのくらいのペースで進めていけばいいか想像がつかうと思います。

ウロ覚えのペース

- ①今この瞬間「覚えた！」と思ったら次へ進む。
- ②最初から知ってる単語は「即ムシ」する。
- ③簡単な単語は数秒目を通すだけでOK。
- ④難しい単語はじっくりと（「書く」のもアリ）。

とにかくリズムミカルにテンポよく進めてください。もちろん、1000個の単語に2時間でも3時間でもかけたほうが効果はありますが、さすがにそこまで単語に時間を割けないでしょう。かといって、1000個の単語を30分でやると、あまりにウロ覚えすぎて効果は出ません。「1時間後にテストが待ってる」つもりでやってください。

ちなみに、単語の数は「知っている単語も含めて1000個」です。純粹に知らない単語だけ1000個をピックアップするのは、それだけで時間がかかりますので、その時間は暗記に回したほうがいいです。

④ 4回目まではまったく効果が出ないので、たぶん僕に不信感を通り越して殺意がわきますが、6回目までちゃんとやってくださいね。ここまでハッキリ6回と本に書く人はいないと思います。メチャクチャ勇気がいることなんです。それでも書き切るこの方法を信じてトライしてください。

④ もし50分で終わったら、また最初に戻って忘れていそうな単語を確認してみましょつ。「1時間後にテストがあるつもりでやれば、集中力も上がりますよ。」



### 実録・20日間で8000個暗記した高3生

僕の教え子で、この単語暗記法を実践して、全部記録をつけてくれた女の子がいました。この生徒の偏差値は高3の1学期で54程度です。10000個ではなく、目標8000個(2000個×4日)でトライしました。

1回目で正解数311個ということは、単語帳の8000個のうち、最初から311個(39%)の単語を知っていたということです。目標を8000個に減らし、最初から4割の単語を知っていたおかげで、伸びは順調でした。実際はもつと苦労するはずですが、忙しい受験生がわざわざ提供してくれた貴重な「リアルな結果」ですので、参考までに載せたいと思います。

目標8000個(2000個×4日)の正解数(正解率)

- 1回目 311個(39%) ▼最初から311個は知っていた
- 2回目 388個(49%) ▼1回やっただけで覚えたのは77個
- 3回目 509個(64%)

4回目 587個(73%)

5回目 771個(96%) ▼ここでほぼ完成したため6回目をやらずに終了

### 目標数はアレンジしてもOK

1日2000個ということは「1日に2時間」単語に時間を使うということです。「単語にそこまで時間を割けない」と思うでしょうが、単語は腹を据えて本気でやらないとマスターできないんです。腹をくくってください。<sup>95</sup>

とは言っても夏休みなどの休みを利用しなければ、さすがに1日2時間は難しいでしょう。そこで「目標数をアレンジ」してみましょう。とにかく「挫折しないこと」が大事です。迷ったときは少ない目標から始めてください。

<sup>95</sup>僕の生徒は毎年9割ほど大成功を取っています。残念ながら1割の人は挫折しちゃいますが、「やればできる」それだけなんです。

#### ・目標①入門編

目標数1000個……1日1時間1000個×6日

↓6日連続で同じ1000個を目を通すわけです。1週間しないうちに1000個覚えられます。実はこれってすごいことですよね。



今日は…  
からは…

「1カ月1000単語習得法」を実践して、  
英語力に革命を起こそう！

ないわけではありませんので、その後「月1メンテナンス」はしてください。1000個の単語といえども、6セットもやっていたら、1時間くらいでチェックできます。月に1回は総確認をして万全なものにしてくださいね。

### 💬 バッチリ覚えたそのあとは？

もちろん入試に必要なのは、単語帳1冊（2000語レベル）です。でも最初は、この小さな目標を繰り返して「まずは1000個」を目指してください。1000個マスターした時点で、世界が変わります。英語を見るだけでテンションが上がりますよ。

①「あ、知ってる。これも知ってる。この単語は知らないけど、これも知ってる」みたいに「世界が変わる」はずですよ。

### ・目標② 初心者編

目標数300個……1日1時間100個×3日で1セット

↓3日×6セット＝18日で完成。3週間しないうちに300個マスターできます。これでうまくいったら、同じことをあと2回繰り返し返せば、900個マスターできます（18日×3回＝54日で900語マスター。2カ月900語でも十分立派ですよ）。



## 丸暗記しないで英熟語を覚える方法

「直訳×前置詞×基本動詞」で暗記量を激減させる

「単語と熟語、どっちが大事？」という質問はナンセンスですが、あえて答えるなら「熟語」です。<sup>01</sup> 単語よりも熟語のほうが、空所補充などでそのまま出るので「熟語を知ってる」⇨「得点につながる」からです。受験計画にはしっかり「熟語」の時間を確保しておきましょう。

英熟語は「丸暗記する人」と「理屈で覚えていく人」で大きく差がつく分野です。熟語の丸暗記を減らすには3つの力が必要です。

- ① 「直訳」する単語力
- ② 「前置詞」の理解
- ③ 「基本動詞」の理解

熟語の丸暗記を減らす3つの力

熟語は、直訳すれば大半のものは丸暗記しなくても大丈夫なんです。

たとえば、mean business 「本気だ」という熟語。直訳は「仕事を意味する」です。すね。「仕事を意味する」⇨「本気だ」になります。<sup>02</sup>

pass away 「亡くなる」なら、「離れたところへ (away)、過ぎ去る (pass)」⇨「遠くへ行く」⇨「亡くなる」という意味です。<sup>03</sup>

ただし、直訳に当たって必要になるのが、前置詞と基本動詞の知識です。

たとえば、stand by 「傍観する・味方する・待機する」という熟語があります。これはbyを「くによって」なんて考えていたら解決できず丸暗記になりますよね。実はbyの原義は「近くに」なんです。

<sup>01</sup> もちろん「あえて」言うだけですが、これくらい言わないと熟語をちゃんとやらない受験生がたぐさいるからです。単語は誰でもやるのですが、そればかりで「え、熟語帳とか、やっぱり持ってたほうがいいんスか？」という受験生はけっこういるんです。

<sup>02</sup> ちなみに日本語では遊びじゃないんだぞ⇨本気だぞ」って逆の発想です。

<sup>03</sup> Die 「死ぬ」が直接的すぎるので、遠回しの言い方です。



## 07

### 発音・アクセント対策でやるべきこと

発音・アクセント問題に出る単語は決まっている

発音・アクセントは受験生の泣き所ですね。身もふたもない言い方になりますが、やはり普段からきっちりチェックするのが一番の対策になります。

そうは言ってもなかなか大変なことですので、一番効率のよい方法としては、せめて「よく出る単語だけはチェックしておく」ということになります。

発音・アクセント問題に出る単語は、ある程度決まっています。これをチェックしておくのは時間の限られた受験生にはベストと言えるでしょう。

今日は…

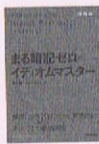
熟語は必ず終わらせよう！  
「前置詞」と「基本動詞」を学べば丸暗記から解放される！！

「傍観する」、「精神的にそばに立つ」↓「味方する」、「舞台のそばに立つ」↓「待機する」(stand byをそのまま読めば「スタンバイ」になるわけです。このby本来の意味「近くに」を知っていれば、ほかにpass by「通りすぎる」なども納得できるはずです。

また、基本的な動詞の意味も大事です。たとえばtakeは「取る」という意味があります。take inという熟語には「理解する・見物する・だます」という意味があります。take inの直訳は「中に取る↓取り入れる」です。

「頭の中に取り入れる」↓「理解する」、「旅行の予定に取り入れる」↓「見物する」、「自分のズルイやり方に相手を取り入れる」↓「だます」となるわけです。このような「考える熟語」を覚えてくれる本は『**まる暗記ゼロのイディオムマスター**』が良いでしょう。

#### Books



『まる暗記ゼロのイディオムマスター』(清川舞・クリス・コルチ/河合出版)  
熟語の意味をただ載せるのではなく、ワンポイント解説がついているので、これでかなり覚えやすくなります。

① [eɪ] の例 breath [breɪt] (息) / [i:] の例 breathe [breɪt] (息を吸う) / [eɪ] break [breɪk] (壊す) / great [greɪt] (偉大な) / steak [steɪk] (ステーキ) のみです。

今日からは…

発音・アクセントの頻出パターンをチェックして、  
一通り解いておこう！

発音問題の頻出パターンを押さえておく

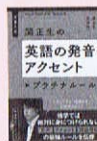
発音問題には「頻出パターン」があります。

たとえば、「æ」のスペルをどう読むかという問題は異常に出ます。æに  
は3つの読み方があり、ほとんどが【æ】か【ɛ】のどちらかで、あとは【e】  
です。

こういった頻出パターンの問題を一度解いておけば、本番で「取らなきゃ  
いけない問題」をきっちり得点することができますようになります。

発音・アクセントの対策本でオススメは、『**大学入試 関正生の英語の発  
音・アクセント プラチナルール**』です。

### Books



『大学入試 関正生の英語の発音・アクセント プラチナルール』

(関正生・斉藤 健一／KADOKAWA)

発音・アクセントの大事なルールに、ランキングづけがされています。時間が  
ない人は、まずは「重要度A」のルールと練習問題に取り組みだけでも、かなり  
効率的な対策ができるはずです。



# 08

## 辞書の正しい使い方

「辞書の例文の暗唱」を習慣にすれば最強

辞書で一番大事なことは「例文を読む」ことです。

ただし、全部の例文に目を通す必要はありません。それでは膨大に時間がかかってしまいます。自分が調べたい意味の例文だけで十分です。2つ3つあるでしょうから、その中で一番意味がピンとくるものを読んでください。

次に、目線を外してその例文を暗唱してみてください。<sup>01</sup>一瞬で忘れていくでしょう。でもそれが普通です。だからもう1回読んで、暗唱にトライしてみてください。何も見ずに言えたらクリアです。

<sup>01</sup>絶対に目線は外してください。辞書で英文を見ながら言っても、あまり効果はありません！

例文が長い場合、1つの英文丸ごとを暗唱する必要はありません。そこまでやろうとすると相当の時間がかかります。「覚えたい単語」「覚えたいフレーズ」だけでOKなので、何度も暗唱してください。

文字にすると大変なようですが、実際にやってみればそんなに時間がかかるものではありません。そして効果は絶大です。逆に言えば、これをやらずに意味だけを調べても、何の効果もありません。ただ「ちゃんと予習しました」というノートをやるだけの作業になってしまうんです。

今までの「意味を調べるだけ」の辞書の引き方と比べると面倒でしょうが、でもこの習慣があるのとないのでは、今後メチャクチャ差が出てきますよ。まさに「チリも積もれば……」です。

<sup>02</sup>多くの高校生があれだけ辞書を引きまくりながら、実際はあまり単語を覚えていないのは、これが原因なんです。

「電子辞書で「時間を買う」」

「紙の辞書か電子辞書か？」は、最終的には「好み」の問題です。ただ、受験生には電子辞書をオススメします。勉強時間が節約できるからです。また、スマホやタ

タブレットで調べることもできますが、どうしても他のアプリなどが目に入り、気が散るので、辞書を用意した方がいいでしょう。  
メリットをいくつか紹介してみましよう。

- ・スピードが格段に速い
- ↓調べる時間を圧倒的に節約できます。勉強中のストレスも激減します。
- ・発音が聞ける
- ↓発音を聞くことで耳からも覚えられます。
- ・持ち運びが便利
- ↓疑問に思ったときにいつでも調べられます。

### 電子辞書のデメリットは？

一方、世間では電子辞書のデメリットについてもいろいろ言われていますが、ここではそのデメリットに反論してみたいと思います。

- ・「ほかの単語が目に入らないので寄り道ができない」
- ↓「紙の辞書ならほかの単語も目に入る」と言う先生もいますが、そんな寄り道

をしていたら、勉強そのものが進みません。

・「値段が高い」

↓相場は2万円前後ですが、何冊も辞書を搭載していて、さらに「学習効率が高い」  
・「画面が見づらい」

↓こんなことを言うのはオジさんだけです。高校生には全然問題ないでしょう。

### 買うときのチェックポイントは？

オススメはカシオの『EX-word』シリーズです。ほかにもいろんなモデルがありますので、店頭で確認してみてください。

チェックポイントは次の2つです。

- ・キーの反応速度を確認
- ↓スペルをババツと打ち込むと、たまにキーが反応しないものもあるので、店頭で実際に手に取って確認するのがベストです。

03 受験勉強を効率的に進めるうえで「寄り道しない」ことはむしろメリットだと思えます。



今日からは…

辞書は「例文を暗唱」してみる！  
電子辞書で勉強時間を一気に短縮しよう!!

りして膨大な時間を失う可能性があります。  
もし英英に興味があれば、電子辞書で英英が搭載されたものをオススメします。  
英和で引いた単語を「英英ではどう言うのかな？」と調べるのがいいでしょう。

04 クラスに1人ぐらいの割合で英英辞典がハマる生徒はいます。「英英が楽しい」と思えばそれはそれで結構ですが、無理に使う必要はまったくありません。

### 英英辞典は使うべき？

僕は受験生には英英辞典を勧めません。無理に英英を使って、勉強が空回りして膨大な時間を失う可能性があります。  
もし英英に興味があれば、電子辞書で英英が搭載されたものをオススメします。  
英和で引いた単語を「英英ではどう言うのかな？」と調べるのがいいでしょう。

僕は受験生には英英辞典を勧めません。無理に英英を使って、勉強が空回

### 紙の辞書でオススメは？

・「例文完全収録」が絶対  
↓2000円ぐらいの電子辞書もありますが、単語の意味が表示されるだけで、例文がないと思います。学習用英和辞典（『ジーニアス英和辞典』など）の「完全収録」が最低条件です。2万円前後で売っているものが妥当です。

### Books



「ライトハウス英和辞典」「ライトハウス和英辞典」（研究社）  
易しい例文と便利なまとめが特長。僕は高校1年のときから10年間使いました。慶応大学文学部の入試は「辞書持ち込み可能」なので、当日持ち込んだ僕の戦友です。